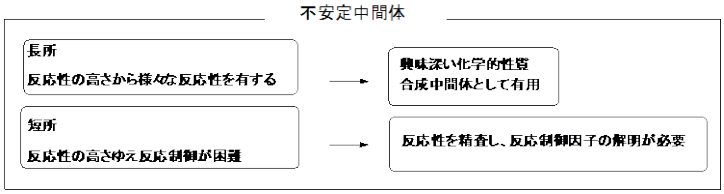
１．個人データ

職名： 准教授　　氏名： 小泉 拓也　　学位： 博士 (工学)　　e-mail： koizumi@kobe-kosen.ac.jp

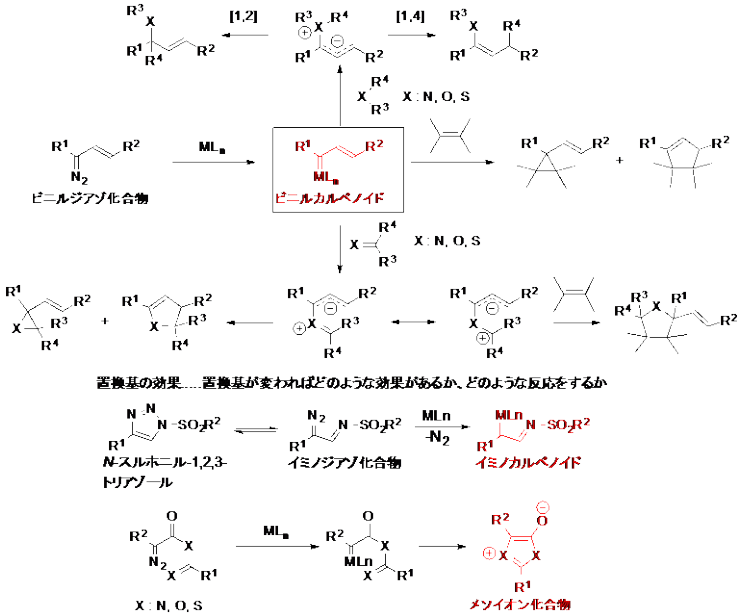
２．教育・研究テーマ

不安定中間体の発生を鍵とした新規反応系の開発とその応用

反応中に発生はするが反応活性なため単離ができない中間体（不安定中間体）の反応性に関する研究を行っています。このような不安定中間体は様々な反応性を示すため、化学的に興味深いだけでなく、従来法では合成困難な化合物を一段階で与えるなど合成中間体として非常に有用です。しかし、その反応性の高さゆえに一般に反応制御が困難です。そのため不安定中間体の反応性を精査し、反応性を制御する因子を解明することは学術、合成の両面で非常に重要な研究テーマであると考えています。



具体的にはビニルカルベノイドやイミノカルベノイド、メソイオン化合物などの不安定中間体に着目し、ヘテロ原子や炭素多重結合との分子内、分子間の反応を検討することで新規反応系の開発、新規化合物の創製及びその反応機構の解明を行っています。



３．その他のデータ

（１）教育・研究技術相談可能分野

・有機合成一般
・有機物構造解析
・有機反応機構
・

（２）出前講義・公開講座，講演可能テーマ

・小学生向けの簡単な実験

（３）キーワード

・ビニルカルベノイド、イミノカルベノイド、メソイオン化合物、有機反応機構論、複素環合成